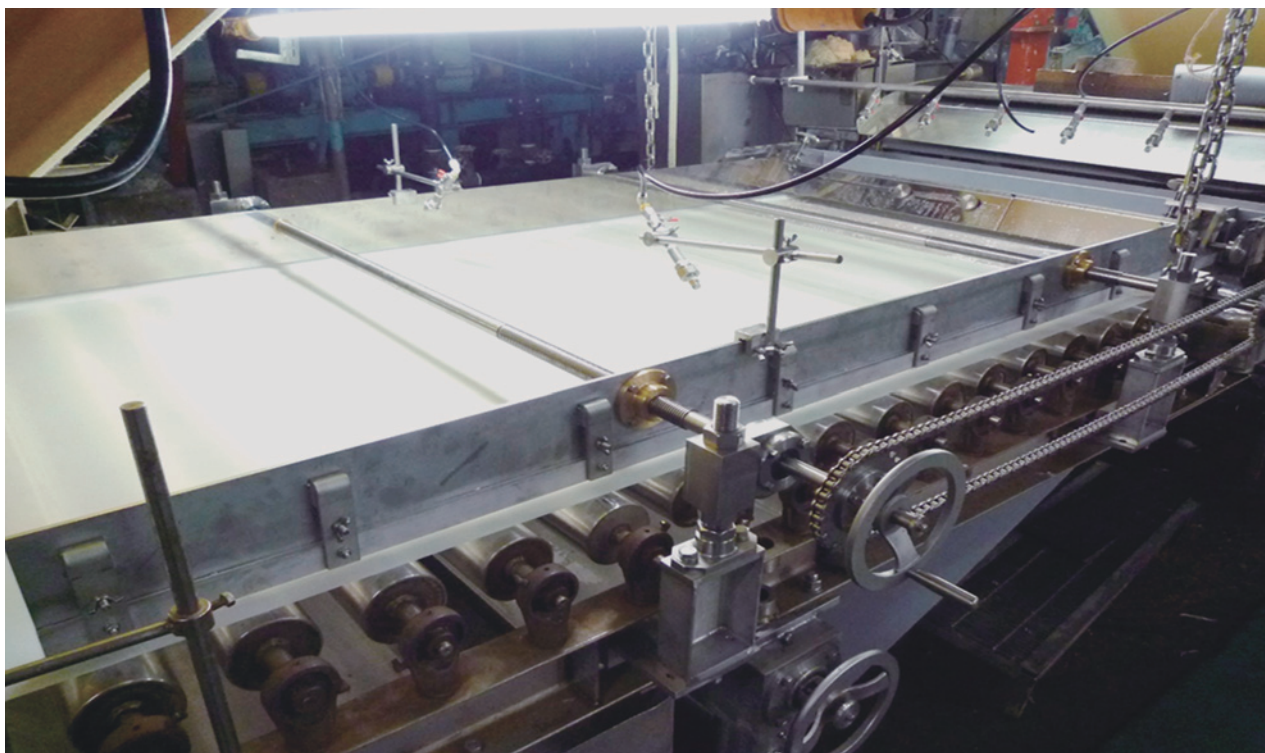


富士製紙企業組合

平成 24 年度 補正予算事業

エッジ(耳)を残した機械抄きによる手漉き紙風合いの 画材用紙やインクジェット用紙の製造

地域資源活用新事業で得た経験を活かし、機械抄きでありながらも手漉き和紙の特徴を忠実に再現した独自の和紙商品開発とそれに伴う設備投資を行い、アーティスト用紙市場におけるシェア拡大を目指した。



工場ライン風景

事業のきっかけや目的

画材用紙やインクジェット用紙（アーティスト用紙）は、美術一般の仕事として関わっている方々を対象にして、学生を含めた若年者から中年、老年までの幅広い版画、水彩画や写真を楽しむ人々をターゲットとしている。本事業において、機械抄きでこれまで出せなかった手漉き紙の風合い（エッジや柔らかさ）を残しながら再現し、品質の安定と量産化による価格競争力と優位性で他社との差別化を図った。

事業の取組み内容と成果

手漉き紙の風合い（エッジや柔らかさ）を機械抄きで実現するために、適正繊維の加工実験と叩解機の改良を行った。ブランケットの蛇行調整やプレート加工とトップフェルト洗浄装置の設置により、機械抄きによる品質の安定と量産化の取組みを実施し、画材用紙やインクジェット用紙で問題となる異物（固まり、ゴミ）の混入を防ぎ、品質を安定させ、付加価値のある商品の量産化を実現することができた。

富士製紙企業組合の思い

当組合はお客様のイメージをかたちにすることをポリシーとしています。戦後の、伝統産業としての和紙の製造が衰退し廃業社が続く中、白い和紙を漉くだけでなく染色や加工を取り入れ、機械抄きも導入してきたことで、従来にはなかった設備や技術の幅も広がり、特にオーダーメイド等の要望に柔軟に対応出来る体制が出来てきました。手漉き和紙、機械抄き和紙、染め和紙、和紙加工などを1つの組織で多様な製品作りが出来るメーカーとして、和紙業界の中では突出した個性を持つ存在であると自負しています。



機械設備



耳付和紙 製品例



作業風景

今後の取組み

国内外のアーティストに向けてエッジ（耳）の付いている手漉き風和紙を安定供給できるようになり、SNSでの情報発信や見本市の出展による新規顧客の開拓をしていきたいと考えています。



事業者 富士製紙企業組合
 代表者 代表理事 藤森 洋一
 設立年月日 昭和27年1月
 所在地等 〒779-3401
 徳島県吉野川市山川町川東136番地
 TEL 0883-42-2035
 FAX 0883-42-6085
 URL <http://www.awagami.or.jp>
 事業の種類 ものづくり技術
 資本金額 3,900万円
 従業員数 30名
 業 種 パルプ・紙・紙加工製造業